

様式第5号

## 出張調査報告書

平成29年10月30日

松伏町議会議長 佐藤永子様

会派名 新自民クラブ

代表者氏名 莊子敏一



下記のとおり先進地視察をしたいので届け出ます。

### 記

1. 期 日	平成29年 9月27日から平成29年 9月28日
2. 視 察 地 及 び 日 時	(1) 岩手県野田村 9月27日 (2) 岩手県岩泉町 9月28日
3. 視 察 目 的	(1) 給食・子育て支援・人口動向 (野田村) (2) 大雨による水害と防災 (岩泉町)
4. 視 察 者 氏 名	莊子敏一
5. 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

野田村・岩泉町 行政視察行程表

9月27日(水)	
	松伏町—北越谷駅—春日部駅—大宮駅
06時58分	大宮駅発 東北新幹線 はやぶさ1号
09時21分	八戸着
10時07分	八戸発 JR八戸線 久慈行き
11時51分	久慈駅着
12時15分	久慈駅発 三陸鉄道北リアス線
12時28分	陸中野田駅着
13時00分	野田村給食センター。視察 給食の試食
14時00分	バイオマス発電所。防潮壁の現地視察
15時00分 ～16時00分	野田村役場・視察
16時20分	陸中野田駅発 三陸鉄道 北リアス線
17時09分	岩泉小本駅着
17時20分	岩泉小本駅 発 町民バス
18時10分	岩泉中学校前 バス定着
	岩泉町 宿泊 ホテル龍泉洞愛山 0194-22-4111

9月28日(木)	
10時00分	岩泉町役場視察
11時30分	
11時40分	岩泉町 現地視察
12時20分	(龍泉洞)
13時00分	龍泉洞発 盛岡駅行き (高速 JR バス)
15時30分	盛岡駅着
16時07分	盛岡駅発 はやぶさ106号
18時30分	大宮駅着
19時45分	松伏町

## 視察結果

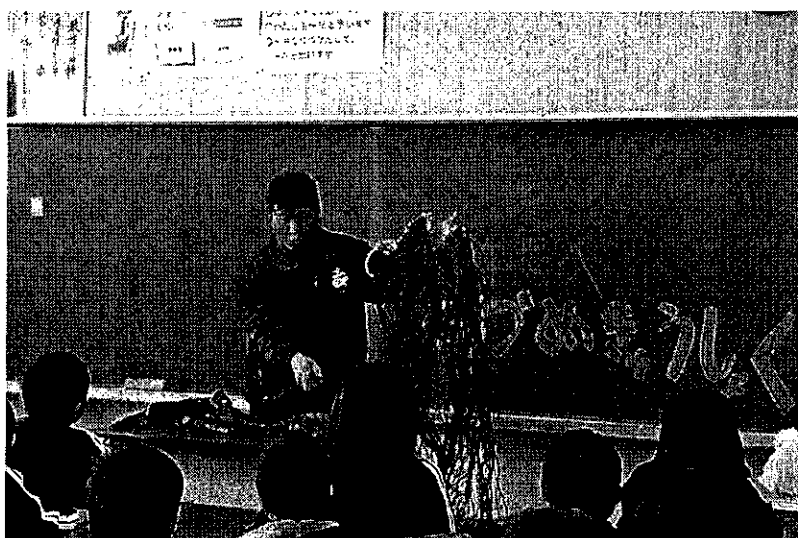
### 1. 野田村

#### ① 野田村の給食

野田村の給食は、中学生でほぼ完食。小学生も量が増える3年生だけ少し残すが、あとはほぼほぼ完食している。松伏町が小学生で6.3%。中学生で9.7%なのと比べると、大きな差がある。



野田村で給食をよく食べてくれる理由は、農家や漁業従事者の顔と意思が児童生徒に伝わっているからだろう。You Tube で作り手の意思を発信したり、農家・漁師・給食センターの調理員との会食などを通じて身近な存在になっている。



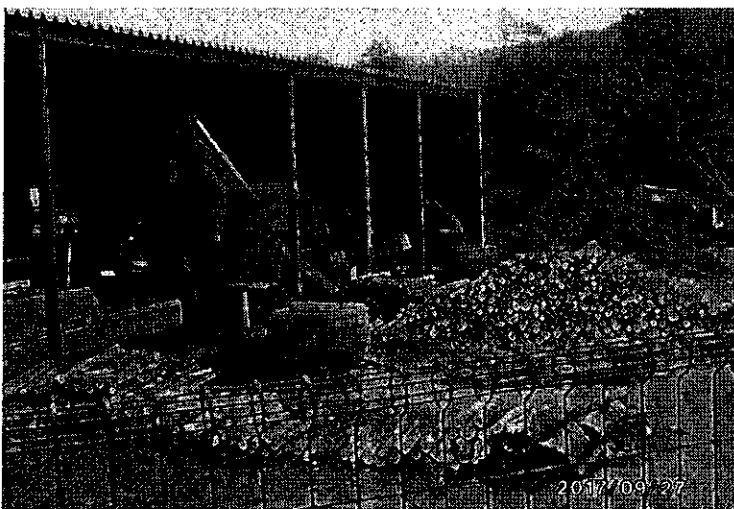
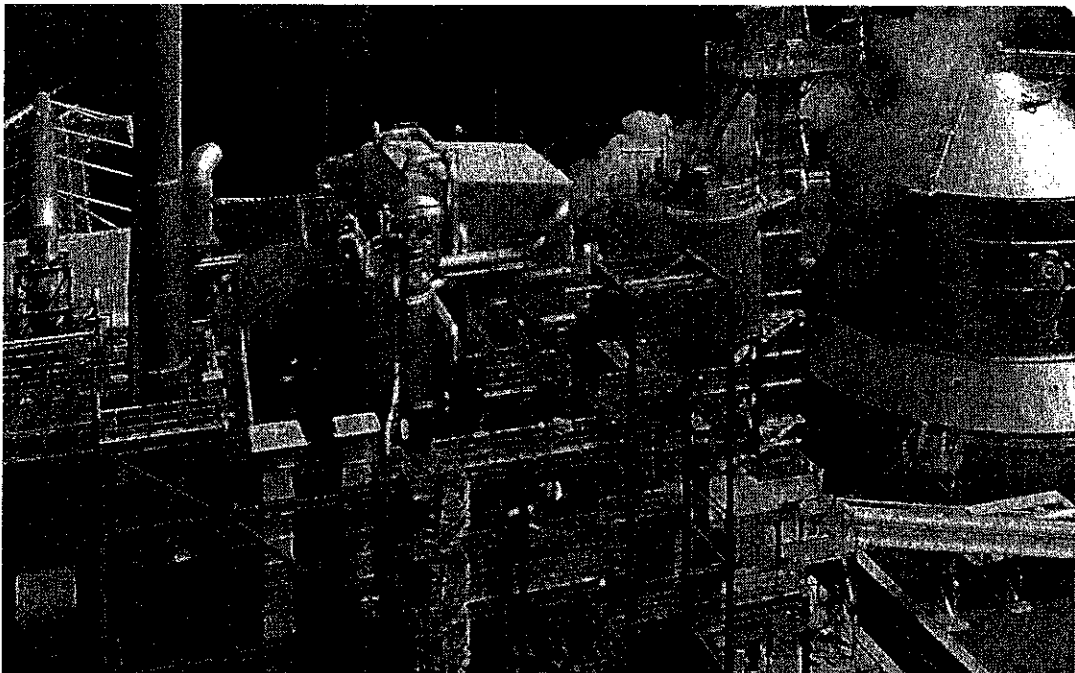
給食センターでは、材料の仕入れに周辺の自治体と共同で購入するシステムを作っている。松伏町は越谷市と比べロット数が少ないので割高な仕入れをしているが、改善の余地がありそうだ。また、納入業者との人間関係も良好で、仕入れ単価で無理も言える関係になっていた。

② 野田村の子育て支援

野田村では、特色のある子育て支援を行っている。妊婦の医療費助成・不妊治療の助成・保育所の無料化・高校生までの医療費無料化などがあげられる。これができるのは、国からの手厚い過疎対策の助成金があるからだ。

これらの施策によって、近隣市（久慈市）から移住して来る子育て世代がいるので評価できる。

③ バイオマス発電所・防潮壁の建設現場 視察



災害によって大量に発生した木材を利用したバイオマス発電所が稼働し始めた。東日本大震災から今年の台風被害まで、いろいろな災害に対応している。また、山から発生する間伐材の処理にも対応している。その他に、発電所の稼働によって20人の新たな雇用が生まれ若者の定着につながっている。東日本大震災では、野田村では37人の死者が出た。村役場の駐車場にも水死体があったと聞いた。これを教訓に、さらに高い防潮壁を建設中で、復興はまだまだだと感じた。

## 2. 岩泉町

### ① 平成28年台風10号の発生時の問題点

台風被害で、想定外だったのが停電だった。急峻な山間を通る県道沿いに電柱が立ち、町に電気を供給していた。それが台風10号の時に、土砂崩れによって県道が遮断され、電柱も流された結果大規模な停電が発生した。町役場の電子機器が壊滅し、固定電話も不通になった。その結果、情報の収集や伝達が出来ず町全体が小陸状態になってしまった。携帯電話も充電が切れるまでの通信しかできず、町は初期対応がままならなかった。松伏町でも電機が無くなったことを想定した訓練も行う必要がある。

岩泉町にも自主防災組織はあるが、組織率にバラつきがあり、住民による共助があまりうまくいかなかったようだ。岩泉町でも自治会の加入率が低いようで、自主防災会のあり方を検討する必要があるようだ。

### ② 災害復旧の課題

台風10号の被害総額は439億円。東日本大震災の時の被害総額は44億円。東日本大震災は激甚災害の指定を受けて、十分な援助があったが、台風の被害は国の援助がほとんどない。この理不尽さに疑問が残る。

そのため町内の同素復旧はなかなか進まず、バス路線も不通のまま。また、他の自治体からの人的応援も無く、土木の技術者の派遣をお願いされて視察を終了した。

災害復旧についても、松伏町の地域防災計画でよく検討されているとは言えないので、国の制度などの調査を始め、精査が必要だ。